

# 南信州広域連合第 11 回広域連合会議 結果報告

日時:令和8年2月 17 日(火) 15:45~16:50

場所:県飯田合同庁舎 301 号会議室

## 【出席者】14 市町村長副管理者

[JR 東海株式会社]小池所長

[南信州地域振興局]宮島副局長

[飯田建設事務所]折井所長

[飯田保健福祉事務所]岩本所長

[下伊那郡町村会事務局]岡庭局長

[飯田広域消防]下平消防長、新井消防次長兼総務課専門幹、熊谷消防次長兼総務課長

[環境センター]松下事務長

[事務局]吉川事務局長・滝沢事務局次長兼総務課長

乾地域医療福祉連携課長兼医療福祉連携係長・壬生広域振興係長

渡邊広域振興係企画調整担当専門主査

熊谷補佐兼庶務係長・幾島庶務係主事

## 1 開会…15:45

## 2 広域連合長挨拶

1月から2月にかけて行われた首長選挙において、喬木村の佐藤村長が初当選、それから高森町の壬生町長が三選、阿智村の熊谷村長が四選ということで、それぞれご当選された。ぜひご活躍を期待申し上げたいと思う。また、2月 12 日から広域議会が開会をしているが、その挨拶の中でも触れたように、2月9日から新しくなった高森消防署、それから木曾広域消防との共同指令センターそれぞれ仮運用を2月9日から開始している。このうち、共同指令センターを2月 25 日の議会閉会日終了後、見ていただきたいと思っている。まずは、当選された町村長さんの挨拶をお願いしたい。

喬木村長:ご承知のとおり、喬木村内は、リニア中央新幹線、三遠南信自動車道と大きな二つの高速交通インフラの整備が行われている。それによって、リニア中央新幹線長野県駅に一番近い村ということで、皆様からもご期待をいただいているのではないかと。その期待の想定をはるかに上回るような村にしていけないといけないというふうに覚悟している。皆さんからもご指導いただきながら、しっかりと進めてまいりたい。

阿智村長:今から 12 年前に広域連合長と同じこの時期、2月にこの場に立たせていただいて、挨拶したのを懐かしく思い出した。あの頃リニア中央新幹線の駅をどうするかというような論議で大騒ぎしていて、2027 年の開通まで私も村長をできるといいと思ってこの職に就かせていただいた。なんとかもう一期だけ、夢と希望を持って頑張っていきたいと思う。

高森町長:20 年ぶりの選挙となり、皆さんの応援をいただきながら再選を果たすことができた。

様々な夢や希望もあり、課題もあり、難しいこともあると思う。14 市町村が連携してやっていくということが大切だと思っている。そのためには厳しいことを言うということもあるかもしれないが、皆さんで地域を盛り上げていくという一つの目標は一緒だと思うので、一緒に頑張っけてやってまいりたいと思う。

### 3 協議・報告事項

#### (1) リニア中央新幹線について

【南信州地域振興局宮島副局長】～資料 No.1～

令和8年2月3日に南木曾町リニア中央新幹線対策協議会を実施。今後の予定としては、2月19日に発生土置き場(押出北)工事説明会、3月3日にリニア駅・高架橋に係る工事進捗説明会を実施予定。

【JR 東海中央新幹線長野工事事務所小池所長】～当日配布資料～

豊丘村で2月4日に長野県土砂等の盛り土等の規制に関する条例変更申請についての説明会を実施。

→質疑等なし

#### (2) 『リニア中央新幹線長野県駅(仮称)の駅舎外観デザインについて』

【南信州地域振興局宮島副局長】

【飯田市リニア推進部牧内参事】～資料～No.2

リニア中央新幹線長野県駅(仮称)の駅舎外観デザインについて長野県及び飯田市より資料を基に説明がなされた。

長野県より

駅舎外観デザインの検討対象範囲については、JR 東海が令和4年の起工式において公表した駅舎パースに示されている区間のうち、国道 153 号から県道市場桜町線までの約 250 メートルの区間。これまでの経過として、駅舎外観については、飯田市が進める駅前広場計画との調和を図り、長野県南部の玄関口にふさわしい駅となるよう、リニア中央新幹線建設促進長野県協議会から JR 東海に対し要請を行ってきた。その後、飯田市及び長野県から JR 東海に対し、JR 東海・飯田市・長野県の三者による外観デザインの検討を提案したところ、令和8年2月 13 日付けで JR 東海から三者による検討に同意する旨の回答があり、JR 東海からは、デザイン検討の参考とするキーワード及びモチーフの提出を求められた。今後の検討方針としては、駅舎外観デザインについて、駅前広場との調和及び長野県南部の玄関口にふさわしいデザインとなるよう、JR 東海、飯田市、長野県の三者で連携して検討を進めていく。飯田市は駅前広場との調和の観点から、長野県は広域的な観点から関係機関の意見を取りまとめ、JR 東海は提出されたキーワード及びモチーフを参考に最終的な外観デザインの作成・決定を行う予定である。今後のスケジュールとして、3月に南信州広域連合会議やリニア中央新幹

線建設促進長野県協議会等にキーワード及びモチーフ案を提示し意見を聴取した上で、4月以降に最終案を取りまとめ、要望事項とともに JR 東海へ提出する予定。

飯田市より

駅舎外観デザインの検討対象は駅舎外壁部分が該当。また、キーワード及びモチーフの検討にあたっては、以下の三点を基本的な考え方として進めていく。

ア 駅前広場デザインとの調和

イ 住民や有識者が参加したデザイン会議及びワークショップを通じて作成した「飯田リニア駅前空間デザインノート」の内容

ウ 同デザインノートを基にした検討

キーワードについては当地域を表現する文言、モチーフについては当地域をイメージする画像等を想定している。モチーフの例としては、天竜川、南アルプス、伊那山地などの山並みなど、地域の自然景観を表すものなどが考えられる。デザインノートに示されている整備コンセプトのうち、「信州伊那谷らしさを感じられる空間」及び「自然との調和を目指した駅空間」が、キーワード検討の基礎となる考え方になる。デザインノートをベースにキーワード及びモチーフの検討を進め、関係機関の意見を踏まえながら検討を進めていく。

(主な意見等)

副連合長: 駅舎デザインのキーワードだが、住民、有識者、地域及び各種団体の代表者を選択してこう考えたと思うが、1つ大事な視点が落ちている気がする。駅は利用者の利便性も大事な視点で、そのことが活力などの駅の魅力につながると思う。そういう意味では新幹線の乗り換えの手軽さを持った空港のような駅がここにできる。名古屋から 25 分、東京から 45 分と考えれば、この地域に都市部の人たちが住めるようになる。そういった視点も入れていただけるとありがたいと思う。

連合長: 外壁は地域らしさを出していくが、駅の機能としては、今おっしゃったような話を考えながらやるということかと思う。

高森町長: 県も飯田市も説明の最後で「関係機関と調整を進める」とのことだったが、その関係機関というのは具体的にどこを指しているのか。もう一点、ある程度立面図など、JR 東海としてこういう駅を作りたいという外観が示された上で検討できるのか。今示されているパースを見ながら「どういうデザインがいいか」という話をしても、あまり意味がないのではないか。ある程度、JR 東海としての外観の方向性が出てきて、それを見ながら、ここをこうしてほしいという議論であれば話し合いもしやすく、理解もしやすいと思う。しかし、今の段階でこのパースだけを見て希望を出しても、それがどのように JR 東海に反映されるのかというイメージがなかなか湧かない。この会議自体がどういう位置付けの会議なのか、そこも含めて確認させていただきたい。

連合長: キーワード・モチーフを出す。そのキーワード・モチーフが我々にとって違和感のないものをまずは出さなければいけない。それをもとに向こうがデザインしてくるものに対して今度は意見を言う。そういう段階だと思う。こういうデザイン案モチーフを参考にして設計を

希望していく。

地域振興局:まずこちらからキーワードのチェックを出して、それをもとに JR 東海の方で複数外観デザインになるものが提示され、それに対して考えていくというものになる。関係機関の意見についてだが、現在、リニア中央新幹線建設促進長野県協議会の中に飯伊地区の同盟会がある。その会員にも意見をいただくということを考えている。

高森町長:外壁をどうするかという議論自体が本当に必要なのかという点も含めて疑問に感じる。見た目の話として、「こういう外壁にして欲しい」、「底を入れるようなデザインにして欲しい」、「そこには木材を使って欲しい」といった要望を出していくと、当然ながら工事費用も大きく変わってくる話になると思う。ホームの外壁については、JR 東海が直接施工する部分だと理解しているが、そこに対してこちらから意見を出したとして、その意見は実際に受け入れてもらえるものなのか。意見を出したとしても、それがどこまで反映されるのかという点が少し分からないと感じている。

連合長:そういう意味で要望を言って一緒に考えるのはいかがかということに対してお聞きするという返事が JR 東海からきている。

高森町長:関係機関については、やはりきちんと情報共有をしていただきたい。また、駅前広場の計画や駅舎の中の構造、あるいはアクセスの仕方など、広域として利用していく部分が見えてこない、それに合った外観の考え方というもの出てこないのではないかと。先ほども申し上げたが、全体として景観に調和させるのか、あるいは近未来的なデザインにするのかという話も、駅の中身や使い方と当然関係してくると思う。ただ、こうしたことは素人ではなかなか思いつくものではなく、やはり設計の専門的な知見を持った方々が関わって検討していく必要があり、そのためにも議論のたたき台となるような案が重要になってくると思うし、そのたたき台があることで、例えば色のイメージなども含めて具体的な議論ができるのではないかと感じている。JR 東海が整備する駅ではあるが、地元としても意見を述べる場を設けていただき、場合によっては、飯田市や広域としても費用を負担するといった議論も含めて進めていく必要があるのではないかと。ただ単にこちらから要望を出しても費用がかかるためできないという形で終わってしまうのであれば、あまり意味がないのではないかと。例えば駅舎の基本設計を作っていく段階で、飯田市の有識者の方々や地域内の設計技術を持つの方々、あるいは長野県内で活躍されている設計士の方々などにも関わっていただきながら、基本設計の段階で意見を述べていくような体制を作ることも必要ではないかと思うため、そのような仕組みづくりについて、要望させていただきたい。

地域振興局:有識者をそれぞれ飯田市の関係の有識者、県の関係の有識者についてご意見をいただく予定である。

飯田市:長野県の回答の補足だが、飯田市としては、このデザインノートをもとに駅前広場を計画してきた。このデザインノートの作成や、駅前広場の計画に携わっていただいた建築家の先生に外観のデザインについてもご意見も伺いながら、その辺を検討して、また3月

以降の広域連合会議に、その内容をご説明させていただきながら進めていきたいと考えている。

副連合長：長野県駅ということになれば、やはり伊那谷全体に波及することだが、このデザインノートは、長野県としても全面的に認めるということか。

地域振興局：今まで飯田市が長らく検討してきた経過がある。これを基本にということで考えている。

連合長：第1版、2019年のものだが、2024年版も出ているので、また後ほど提供する。

(3) (株)南信州観光公社の取組について 【南信州観光公社高橋社長】～資料 No.3～  
(株)南信州観光公社の取組について資料を基に説明がなされた。

観光資源磨き上げ・ブランディングについてサステナブルツーリズムの実施や冬季観光の誘客の取り組みなどを説明。受け入れ環境の整備・充実について地産地消の取り組みや既存観光拠点施設の再生などについて説明。セールスおよびセールスプロモーションについても旅行会社への誘客営業・商談活動などについて説明。また、3月12日に設立記念式典を開催予定である旨の説明が行われた。

(主な意見等)

阿智村長：3月12日にどのようなことをやる予定か教えて欲しい。また、宿泊税が今年から長野県の方で6月から導入され、配分は各市町村に入ってくる。広域的なこともできるという制度もあるため、その宿泊税を観光のために使える。観光公社の方でもどういうシステムになっているか、どうやったらお金が取れるか、といったことを研究してもらいたい。

高橋社長：先週各自治体の皆様宛に文書を発送している。日時は、3月12日(木)13時から17時。内容は、体験プログラムインストラクターと関係者に感謝状の贈呈。その後記念講演として「南信州観光の国内観光における位置づけと、今何をすべきか」というタイトルで、JTB 総研のフェローの山下正樹様から記念公演をいただき、パネルディスカッションを行う。

連合長：南信州広域連合からも1,800万円ほど支出しているため、町村長の皆さんにもぜひご関心を持っていただき、またいろいろな注文を出していただければというふうに思う。

(4) 令和8年南信州広域連合第1回定例会閉会日全協の案件について

【滝沢次長】～資料 No.4～

令和8年南信州広域連合第1回定例会閉会日全協の案件について資料を基に説明がなされた。

→質疑等なし

- (5) 稲葉クリーンセンターの稼働状況について 【松下環境センター事務長】～資料 No.5～  
稲葉クリーンセンターの稼働状況について資料を基に説明がなされた。

→質疑等なし

- (6) 令和8年度看護師等確保対策修学資金貸与者募集について  
【乾地域医療福祉連携課長】～資料 No.6～

令和8年度看護師等確保対策修学資金貸与者募集について資料を基に説明がなされた。

募集期間: 令和8年3月9日から4月24日まで

対象職種: 看護師、助産師、保健師、准看護師

対象者: 看護師等の養成施設の在学中で、免許取得後、直ちに指定施設において、看護師等の業務に従事する者。

貸与予定人数: 10人程度

貸与額: 月額5万円(無利息)

貸与期間: 養成施設の正規の就学期間(留年や休学期間は除く)

その他: 他制度の併用については原則不可だが、構成市町村または長野県の修学資金制度は併用可。

卒業後、圏域の医療機関等に就職し5年を満了した就学生の数は令和7年度の合計が6人だったが、令和8年度は14人に増加する見込み。就職者実数は令和7年度が41人。令和8年度は50人に増加する見込み。

→質疑等なし

- (7) 飯田広域消防から

【新井消防次長兼総務課専門幹、熊谷消防次長兼総務課長】～資料 No.7～

ア 令和7年度消防統計の概要について

火災発生件数: 57件(前年度比9件の減少で統計開始以降過去最少)

死者4人(前年度比3人増加。いずれも住宅火災によるもので3人が65歳以上)

救急出動件数: 8,534件(前年度比29件の減少)

搬送人数 8,118件で統計開始以降最多

救助出動件数: 110件(前年比6件の増加)

交通事故 42件(全体の38.2%)

山岳事故 13件で、山岳救助隊が出動した事案は5件。

イ 飯田・木曽消防指令センター、高森消防署庁舎仮運用開始について

令和8年2月9日より飯田・木曽消防指令センター、高森消防署庁舎の仮運用を開始。

→質疑等なし

(8) その他

後援依頼

以下いずれも承認

ア 第 40 回飯田やまびこマーチ

催事名:第 40 回飯田やまびこマーチ

主催者:第 40 回飯田やまびこマーチ実行委員会

開催日:令和8年4月 25 日(土)から 26 日(日)

会場:主会場は飯田市中央公園

イ おとの音フェスタ

催事名:「おとの音フェスタ」

主催者:アロフェス実行委員会、おとの音実行委員会

開催日:令和8年6月 14 日(日)10 時 30 分から 16 時まで

会場:県文化センター

ウ 飯田・下伊那地域における医療的ケア児等の地域生活の現状とこれから

催事名:飯田・下伊那地域における医療的ケア児等の生活、地域生活の現状とこれから。

話題提供者:医療法人円会 円会センテナリアン施設長・医師 瀬口里美

飯田市子ども発達支援センター医療的ケア児等コーディネーター

松本香織、丸山晃司

開催日:2月 21 日(土)13 時 30 分から 15 時まで

その他:Zoom 参加も可能

4 長野県

(1) 南信州地域振興局

2月8日投開票の衆議院議員選挙と最高裁判所裁判官国民審査の事務を無事に執り行うことができた。県全体の小選挙区の投票率は、前回、一昨年 10 月の衆院選の投票率を上回る 60.32%で、奈良県や山形県に次ぐものとなった。飯田下伊那地域では、投票日当日、大雪警報が発令されたが、前回は上回る投票率だった。有権者の皆様への広報や啓発、また、投開表事務に至るまで、多大なるご尽力を賜り、深く感謝を申し上げる。

(主な意見等)

連合長:県からぜひ、総務省または官邸に市町村は頑張ったが、これを前例としないで欲しいと申し伝えていただきたい。

(2) 飯田建設事務所

特になし

(3) 飯田保健福祉事務所

特になし

5 当面の日程について

2月 25 日(水)10 時 00 分 議会第1回定例会(閉会日)及び全員協議会  
(はにかむべーす多目的ホール)

3月 16 日(月)広域連合会議(飯田合同庁舎講堂)

6 その他

7 閉会…16 時 50 分